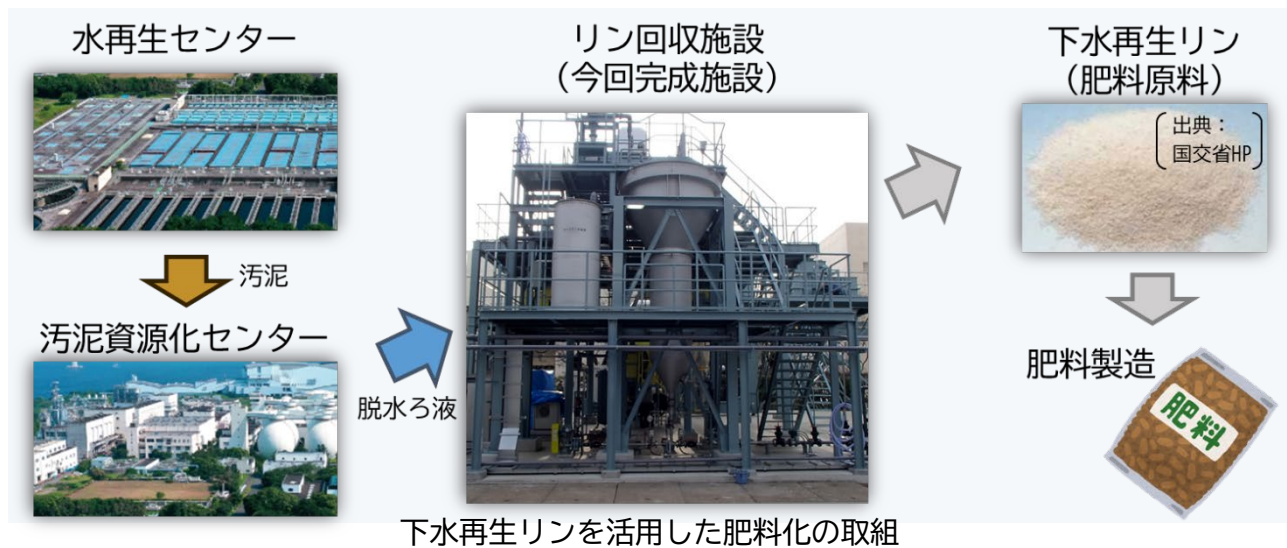


～食料安全保障の強化・循環型社会の形成～ 下水汚泥の肥料化に向けてリン回収施設が完成しました！

横浜市では、安全な肥料原料として下水汚泥から回収したリン（以下、下水再生リン）の肥料化の取組を進めており、国土交通省の下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）※1において、月島JFEアクアソリューション株式会社と共に「MAP※2により脱水ろ液※3から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業」を実施しています。

このたび、北部汚泥資源化センター内に建設したリンの回収施設が完成しましたので、施設完成式を開催します。

今後は、下水再生リンを原料とした肥料を製造し、農業等への普及を推進するとともに、GREEN×EXPO 2027における積極的な活用などを通じて本取組を発信することで、肥料の国産化・安定供給に貢献し、食料安全保障の強化や循環型社会の形成等につなげていきます。



施設完成式について

1 日時

令和6年3月27日（水） 午後1時30分から午後2時30分まで
※式典後、午後2時30分から施設見学会を予定しています

2 場所

北部汚泥資源化センター（横浜市鶴見区末広町1丁目6番地の1）

3 主な出席予定者（敬称略）

横浜市長 山中 竹春

月島JFEアクアソリューション株式会社 代表取締役社長 鷹取 啓太

横浜市会議長 瀬之間 康浩（来賓）

国土交通省水管理・国土保全局 下水道部長 松原 誠（来賓）

農林水産省大臣官房 生産振興審議官 佐藤 紳（来賓）

J A横浜代表理事組合長 柳下 健一（来賓）

J A全農かながわ県本部長 根倉 修（来賓） ほか

4 取材について

報道機関の皆様を対象に施設完成式及び施設見学会を公開します。取材をご希望される方は、3月25日（月）午後5時までに下記取材連絡先までご連絡ください。

取材連絡先：環境創造局政策課下水道政策調整担当

Tel 045-671-3586

Mail ks-kikakuswg@city.yokohama.jp

- ※1 下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）とは、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、国土交通省が実施しているもの。
- ※2 MAP：リン酸マグネシウムアンモニウム。下水汚泥の脱水ろ液に含まれるリン酸及びアンモニア性窒素と、添加する水酸化マグネシウムを反応させることにより、肥料原料として利用可能な結晶化したMAPを回収する。
- ※3 脱水ろ液：横浜市の下水汚泥処理フロー（濃縮→消化→脱水→焼却または燃料化）のうち、脱水工程では、汚泥の濃度を高めるために液体分を分離する。この分離された液体分を脱水ろ液といい、リンの濃度が比較的高い。



お問合せ先

<本取組の全般に関すること>

環境創造局政策課下水道政策調整担当課長 高橋 悠太 Tel 045-671-3586

<B-DASH プロジェクトに関すること>

環境創造局下水道設備課長 芦澤 謙司 Tel 045-671-2816